

日本写真学会

第21回アンビエント技術研究会

アンビエント技術研究会では、写真科学技術の発展的応用の観点から、材料とプロセスの連携に重点を置き、人の周囲にいつでも必要なときに利用できる電子機器環境の実現に役立つ新しい有機電子材料の科学と技術について議論しています。その要素技術の一つであるプリントドエレクトロニクスの世界では、低温溶液プロセスに適した有機半導体材料や金属材料の研究開発が進み、実用レベルの性能を示す素子もできるようになりつつあります。いよいよ、これらの素子を組み合わせる構成される機能デバイスと人との相互作用の最適デザインを描き、それに適合する、素子、プロセス、および材料のめざすべき目標を明確化することが求められます。

第21回の研究会では、最近の有機半導体を活用した OFET 材料の作製と柔軟性をもつ高分子単結晶有機半導体材料の研究で知見をお持ちの研究者から解説していただき理解を深めたいと考えました。いつも通り、十分に時間を取っておりますので、しっかり議論ができればと思います。是非、奮ってご参加ください。多くのご参加をお待ちしております。

— 記 —

【日 時】：2017年6月13日（火）14：00－17：00（受付開始：13：30）

【会 場】：富士フイルム（株）東京ミッドタウン本社201A会議室

【定 員】：50名（定員を超えた場合はお断りする事もございますので、ご了解願います）

【交 通】最寄り駅

■都営地下鉄大江戸線「六本木駅」直結

■東京メトロ 日比谷線「六本木駅」徒歩4分、千代田線「乃木坂駅」徒歩5分、南北線「六本木一丁目駅」徒歩8分

【参加費】：無料

【参加申込】：開催日の1週間前までに日本写真学会 HP よりお申込みください。<http://www.spstj.org/> 先着順で受け付けますが、定員を超えた場合はお断りする可能性があります。あらかじめご了承ください。

【問合せ】：（一社）日本写真学会事務局 アンビエント技術研究会係

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 外線 03-3373-0724

E-mail spstj@pht.t-kougei.ac.jp Fax 03-3299-5887

【第21回研究会技術テーマ】 テーマと講師

(1) 「フッ素系側鎖を持つ有機半導体を活用した OFET 材料の作製とトランジスタ特性」(仮題)に関する講演

但馬 敬介 先生
(理化学研究所創発機能高分子研究チーム チームリーダー)

(2) 「柔軟性をもつ高分子単結晶有機半導体材料」(仮題)に関する講演

林 正太郎 先生 (防衛大学校助教)

講師紹介 (所属機関の URL から)

但馬 敬介 先生 : http://www.riken.jp/research/labs/cems/supramol_chem/emerg_funct_polym/

理化学研究所創発機能高分子研究チーム チームリーダー 但馬 敬介 (Ph. D.)
当チームでは、新規な有機半導体高分子材料の開発と、有機電子デバイスへの応用に取り組んでいます。特に、高分子薄膜中の分子レベル・ナノレベルの構造を自在に制御する手法を探索し、これまでにないレベルでの構造制御によって、飛躍的に電子デバイス性能を向上させるためのブレークスルーを探索します。ターゲットとしては、薄膜太陽電池や電界効果トランジスタなどの既存の有機電子デバイスに加えて、新規な機能を持ったデバイスの開発にも取り組んでいます。

林正 太郎 先生 : http://www.nda.ac.jp/cc/chem/chem_j/hayashi-j.html

防衛大学助教

・専門分野: 有機・高分子合成、光化学、電気化学

・キーワード: 共役系、n型材料、重縮合、リビング重合、有機-無機ハイブリッド、高分子トポロジー

日本写真学会アンビエント技術研究会

主査: 半那純一(東工大)、副主査: 稲垣由夫、宮本公明、飯野裕明(東工大)、加藤隆志(富士フイルム)

事務局: 山岸治

以上